

# たましま協同病院だより

玉島協同病院

倉敷市玉島柏島5209-1

電話(086) 523-1234

http://www.tamakyo.com/

発行責任者 青木弘人

[病院理念] 玉島とその周辺の地域で暮らす人々が、疾病・障害のあるなしにかかわらず、その人らしく輝いて暮らせ、安心して一生を終えることを支援する医療機関でありたいと願います

近年、心不全パンデミックと言われる程、心不全の患者さんは増加しております。多くの患者さんは困難となつておらず、1つの病院で診察出来るよう今回の会が開催されました。地域の先生方13名の参加とコメディカルスタッフ29名の計42名の参加がありました。

玉島地区でも病院・診療所などがスムーズに連携出来るよう今回の会が開催されました。地域の先生が「心不全治療における地域連携の在り方」と題して、心不全治療の最近の治療方針から病院・診療所の連携により地域の患者さんを診ていきました。

3月16日に玉島市民交流センターにて「第1回

地域連携で心不全を考える会in玉島」が開催されました。

## 【第1回地域連携で心不全を考える会in玉島】が開催～進藤院長が座長として参加～



講演会の様子

面会制限がある中での意思決定を支える看護  
3月8日に入職1～3年目の看護師による事例まとめ  
発表が行われました。

2021年、新型コロナウイルスまん延に伴って当院では感染対策チームを発足し、発熱患者さんの個室対応や病院全体での面会制限などの対策を行つてきました。それによって入院期間が遷延する患者さんでは長期間ご家族に会えないこともあります。

やご家族が患者さんの状態を知る機会が減つてしまふ現状にあります。今回はそのような状況の中で患者さんと家族の間の橋渡しどとなるために行つた看護について報告しました。

田中師長による講評



事例まとめ発表の様子

ある患者さんは退院後ご自宅に帰られる予定でしたが入院中発熱をくりかえし、状態も不安定なことからなかなか退院出来ずになりました。病状的にコミュニケーションを取ることも難しかためオンライン面会ではご家族もなかなか本人の思いを聞くことが出来ず、状態を把握することができ難しい状態でした。そのため退院後の生活をどうしてい

べきいいのかご家族も迷われております。そこで、この機会を利用してより具体的に考えるきっかけとなつたのではないかと思います。

今回の関わりを通して、どのような状況下でも患者さん、ご家族が悔いのない選択が出来るよう支援することが看護師に求められると改めて感じました。そのためには一人ひとりと真摯に向き合い、ご家族とも密にコミュニケーションを取りながら患者さんの意思決定を支えて行きたいと思います。

(2病棟看護師 孫陽純)

玉島協同病院は今後も部屋代はいただきません

玉島協同病院は24時間急患対応をしています

**加集万里子の  
お料理教室 シリーズ  
172**

春野菜ととりむね肉のからし酢味噌和え




爽やかな緑の春野菜が出揃いました。  
ピリッとからし酢味噌で楽しみたいですね。

**材 料** (2~3人分)

- ♥むね肉 ..... 小 半分
- ♥春キャベツ ..... 2枚
- からし酢味噌**
- ♥練りからし(チューブ) ... 2cmくらい
- ♥味噌(家にあるもので) ..... 大さじ2
- ♥砂糖 ..... 大さじ1
- ♥酢 ..... 大さじ1



**作り方**

- ①むね肉は薄く、そぎ切りにする。
- ②野菜は食べやすい大きさに切り、塩ひとつまみを入れた熱湯でさっと茹でる。むね肉も残りの熱湯で茹でる。ざるにあげたら酢(分量外)を少々振りかけておく。
- ③からし酢味噌の材料を合わせ、よく混ぜ合わせておく。
- ④酢を振りかけた材料を軽くしぼり、食べる直前にからし酢味噌で和える。

新玉ねぎ(生)、グリーンアスパラ、白ネギも美味しいですね。  
からし酢味噌は多めに作っておくとすぐ使えて便利です。

## 写真展 「福島のいま」

先月のたましま協同病院だよりで、青木事務長が民医連研修の一環で福島を訪れた様子をご紹介しました。多くの人が犠牲となった3月11日の東日本大震災から12年が経過した被災地の様子についてよくお分かりいただけたのではないでしょうか。

今年も当院の南廊下では、震災当時の様子から復興に向かっている現在までの福島の写真を解説つきで展示しております。廊下を通りかかった患者さんや利用者さんが足を止めて写真を見る様子がみられました。「福島の今」を知ることによって、「3.11を忘れない」ことに繋がります。

自然災害はいつ、どこで起こるか分かりません。東日本大震災の出来事を今後に繋げて、災害に対する危機感を持つことが大切です。

(地域連携室 白笠 みく)




**今年も病棟に  
ひなまつり**



今年も1病棟に立派な  
ひな壇が飾られました。  
ひな壇の両側には職員手作りの  
ひなまつりの歌詞も。  
季節を感じることが出来て  
良いですね^ ^

**(事務長 青木弘人)**

**3月19日に晴天の中、良寛椿の森づくりに向けた第1回植樹祭があり、  
当院を代表して参加してきました。**

この取り組みは、円通寺境内に現存する樹齢200年余りの良寛椿の原本が2005年頃から花を付けなくなり、樹木医の診断から瀕死の状態とわかり、何とかこの椿を後世に残そうと立ち上がった「良寛椿の会」が原木から挿し木をして育てた苗木を植樹し、良寛椿の森創生を目指していける取り組みによるプロジェクトです。クラウドファンディングにて資金を募り、名利円通寺と玉島湊の町おこしを目指している取り組みに玉島の人々に支えられ、今まで協力させて頂きました。苗の傍らには当院の2種

類の銘板も一緒に設置しています。これから森を拡大するため、隣接地を開墾して広げるそうです。何年か後には植樹した苗も大きくなり、白玉椿を見ることが出来るでしょう。近くには昨年「希望の鐘」も設置され、玉島の町並みから瀬戸内海まで一望できる絶好のロケーションです。

**植樹した椿の苗**



椿の森は駐車場から眼下に広がっており、近くまで降りていくこともあります。苗と同様に、これからも地域とともに歩んでいく当院であり続けたいとの想いを込めて植樹してきました。機会があればお立ち寄り下さい。

**良寛椿の会のみなさんと**

